



溝端 甚一郎 議員

高山市のダムの安全性について

【問】市内にあるダムの設置数は。

【答】ダムは河川法の定義で堤体高15m以上のものをいう。県が建設したものを含め、現在13のダムがある。

【問】安全性と現状の把握についてはどうか。

【答】管理する電気事業者によれば、地形状況や地質特性等に基づく計算により、安全性は確保されている。これまでの点検結果からも異状は見られない。

【問】想定外の事故等に対しての安全確保は。

【答】ダム本体等に事故等が発生し、下流域への影響が生じた場合に備え、住民への早急な避難の周知方法に関

係者と検討・協議する。

指定管理者制度について

【問】「くぐのふるさと公園」の、これまでの指定管理者の評価は。

【答】積極的に公園の美化や環境整備に取り組み、良好であったと評価している。

【問】地域の活性化における、新しい指定管理者の考え方は。

【答】町内会の奉仕作業への参加など、地域の活性化に寄与したいと考えと聞く。

【問】指定管理料は。

【答】仕様書に基づいて指定管理料を積算しており、適正な管理は可能と考えている。また、管理状況は支所職員が現場を見て確認していく。

【問】今後の方向性は。

【答】地域活性化の観点から、地域に根付いた団体の育成も重要であり、選考基準について検討したい。



水門 義昭 議員

行政評価システムについて

【問】前年度の評価の結果は。

【答】104事業を選定し評価した。昨年度よりHPなどで公表。

【問】本年度実施する事業評価は。

【答】事業評価と予算とが、より一体的に行える仕組みを検討。

【問】外部評価、市民満足度調査は。

【答】第三者の視点からの評価は、客観性・透明性を高める観点から重要な要素と認識している。

【問】行政評価のあるべき姿について。

【答】情報公開の推進からも、評価過程などを分かりやすく伝え、市民の皆様の意向を、政策等に反映する仕組

みとすることが重要。

『新たな公共』と市民活動支援について

【問】市民活動団体の現状は。

【答】町内会282、地区社教20、市民活動団体の登録は101。

【問】これらの団体への、今後の支援は。

【答】様々な課題などに柔軟できめ細かな対応ができ、新しい公共を担う重要な主体。より活動しやすくなるよう、場づくり・仕組みづくり・人づくりのための支援を行なう。

【問】ボランティアの教育と指導について。

【答】連絡会を設置し、研修会の開催や交流促進などを実施している。

【問】ボランティアポイント制度・ボランティア貯金について。

【答】ボランティアへの関心や、参加へのきっかけづくりの手法の一つと認識している。



村瀬 祐治 議員

公共事業の執行状況について

【問】平成23年度の発注状況は。

【答】国庫補助決定前で、まだ発注できない。

【問】昨年度の繰越明許費25億円の発注は。

【答】6月末までの執行予定。

【問】4～6月に発注量が少ない訳は。職員体制の問題なのか。

【答】3月の予算承認後に準備に入るため、発注は秋口以降になっている。職員体制は、業者委託など考えたい。

資源利用の企業誘致について

【問】高山産木材の利便による企業誘致は。

【答】地元企業への支援もあわせ、積極的に

行っている。

電力不足について

【問】市の節電対策は。

【答】電灯等で節電している。今後、各施設においても取り組む。

【問】同程度の学校規模なのに、電気使用料に大きな差がある。

【答】床暖房等新しい設備がある。今後調査する。

省エネ対策について

【問】太陽光発電等の事業所への補助は。

【答】現在行っていないが、今後考える。

大型店舗出店による影響について

【問】花里町2丁目の、大型店舗出店に伴う道路整備は。

【答】交通量の増加は認識している。安全確保に今後も留意する。

【問】飛騨産業跡地利用の中の、道路整備は。

【答】未申請だが、検討していく。